

# 7. 2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技大会への対応



# 地域における観光立国ショーケース

## <2020年にショーケース化する具体的な成果イメージ>

特定の地方都市において、各省庁の施策を集中投入した総合的な観光地域づくりを実現するため、2015年に、特定の地方都市を選定した上、地域の官民が一体となった戦略的・持続的な取組体制を確立。その後、順次、各省庁の支援施策を集中投入して、外国人旅行者に訴求するコンテンツとして地域の観光資源を徹底的に磨き上げるとともに、外国人旅行者がストレスフリーで旅行を満喫できる環境を整備し、魅力ある観光地域として強力に海外に発信していき、2020年には、外国人旅行者の地方への誘客のモデルケースをつくりあげる。

日本再興戦略改訂2015  
1.3.⑤

観光立国実現に向けた  
アクション・プログラム2015 3

### 取組体制の構築

- 民間主体として取組の中心的役割を果たす組織(日本版DMO)を確立する  
(実施事業例)
  - ・関係者の合意形成
  - ・マーケティングに基づく戦略策定(目標設定含む)
  - ・各種事業のマネジメント(事業評価、統計分析等)等

- 行政における部局横断的なプロジェクトチームを設置する

### 外国人に訴求するコンテンツの充実

○地域の観光資源を外国人旅行者に訴求するコンテンツとして徹底的に磨き上げ、満足度の高い滞在プログラムとして提供する仕組みづくりを実施する

<取組例>

- ・(a)地域資源を活用した新商品・サービスの開発・提供(経済産業省と連携)
- ・(b)日本食・食文化、農山漁村等の魅力活用(農林水産省と連携)

- ・(c)文化財の保存・整備・活用、地域の歴史的まちなみ等の活用(文部科学省と連携)
- ・(d)地域の自然を活かしたエコツーリズムの推進(環境省と連携)



富岡製糸場東置蔵所  
(群馬県提供)

### 外国人の快適・円滑な旅行の実現

○ストレスなく滞在・周遊を楽しむための環境整備を実施する

<取組例>

- ・(e)道の駅等ゲートウェイにおける観光案内機能の充実
- ・(e)観光地間の2次交通の充実・乗継円滑化
- ・(e)通訳案内士の活用促進
- ・(e)商店街等における免税店の拡大
- ・(e)交通手段のバリアフリー化
- ・(e)手ぶら観光の実施

- ・(f)Wi-Fiの整備・充実(総務省と連携)
- ・(f)観光・交通等各種アプリの開発、整備・充実(総務省と連携)
- ・(f)観光看板、デジタルサイネージの整備、多言語対応(総務省と連携)
- ・(g)カード・アプリによる「ストレスフリー」な環境整備(経済産業省と連携)



### 海外への情報発信

○(h)ビジットジャパン事業により海外へ地域の魅力を発信

<取組例>

- ・現地旅行会社等が一堂に集まる旅行博への出展、商談会等の開催
- ・現地旅行会社を日本の観光地へ招請し、訪日旅行商品の造成を働きかけ
- ・地域による情報発信の支援
- (h)日本食・食文化と一体となった農山漁村の魅力を世界へ配信(農林水産省と連携)
- (i)地域の魅力を伝える放送コンテンツ等の発信(総務省、経済産業省と連携)
- (j)文化プログラムを活用して日本文化を発信する(文部科学省と連携)

多くの外国人旅行者に選ばれる、観光立国を体現する観光地域を2020年までに作り上げる

# 東京ユニバーサルデザイン・ショーケース

概算要求

税制要望

下記参照

下記参照

2020東京オリパラが開催される東京(※)において、

- ・先進的な施設を含めバリアフリー化を集中的に実現
- ・高齢者や訪日外国人等にやさしい幅広いユニバーサルデザイン、ICTを活用した案内情報の提供等をシンボリックに現出、ショーケース化
- ・他の先進国等に先駆けて超高齢化が進む我が国のベストプラクティスを内外にアピール
- ・本年8月にバリアフリーワーキンググループにおいてとりまとめた「チーム・ジャパンで取り組むバリアフリー・ユニバーサルデザイン施策」を着実に推進

骨太方針2015 2.1. [1]、3. [3]

日本再興戦略改訂2015

2. 2. テーマ4-②、3)

別冊「改革2020」プロジェクト(Ⅱ) 5. ②

観光立国実現に向けた

アクション・プログラム2015 6. (5)

※成田・羽田空港ターミナル、主要ターミナル駅、大会競技施設までのルート及び最寄り駅、東京の人気観光スポット及び最寄り駅等を結ぶ連続的なエリアを想定

## (1) 公共交通機関の旅客施設(鉄道駅、バスターミナル等)におけるバリアフリーの推進

- エレベーター、エスカレーター、スロープ、ホームドア、点字ブロック、障害者用トイレ等の設置



【エレベーター】



【駅のホームドア】

概算要求額:414.3億円の内数(鉄道駅等)  
税制:<鉄道駅(エレベーター、ホームドア)>

- 空港等からのアクセスルートのバリアフリー化

※成田空港・羽田空港ショーケースと運動して取り組む。

- 競技会場周辺の面的・一体的なバリアフリー化

## (4) 分かりやすい案内表示の推進

概算要求額:0.1億円

- バリアフリールートの情報提供の充実
- ピクトグラム、デジタルサイネージの活用
- 駅係員呼び出しインターホン等による情報提供の充実



【磁気ループシステム】  
※音声情報を補聴器に直接送る装置



【デジタルサイネージ】



【Vegetarian, food  
ピクトグラム】



【駅係員呼び出しインターホンによる筆談対応】

## (2) 公共交通機関の車両のバリアフリー化の推進

概算要求額:348.6億円の内数(自動車)

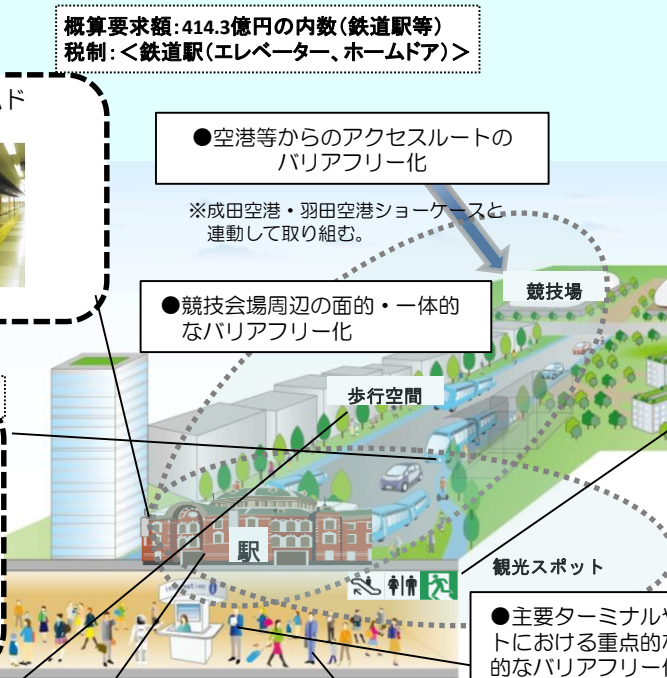
- 鉄軌道車両のバリアフリー化、リフト付バス、ユニバーサルデザイン(UD)タクシー等の導入



【UDタクシー】



【リフト付バス】



- 主要ターミナルや観光スポットにおける重点的な面的・一体的なバリアフリー化

## (3) 道路等の歩行空間、都市公園、路外駐車場、建築物等のバリアフリー化の推進

概算要求額:社会資本整備総合交付金等の内数



【歩行空間のバリアフリー化】

## (6) 心のバリアフリー

概算要求額:0.1億円

- 公共交通事業者の職員教育を通じた接遇の向上
- 公共交通機関等における心のバリアフリー推進運動の展開



【交通事業者向けバリアフリー教育訓練の様子】



【車いすサボ-ト体験】

## (5) ICTを活用した歩行者移動支援サービスの導入、バリアフリー関連情報の提供の充実、多言語化

概算要求額:0.5億円

- ICTを活用した歩行者移動支援サービスの導入



屋内外問わず、自分の位置、目的地までの経路が詳細にわかる



世界最先端の観光立国を実現するため、訪日外国人の受入玄関口である成田空港・羽田空港において、空港をゲートウェイとした情報発信の拠点整備等に取り組む、空港の利便性・快適性を向上させる。

日本再興戦略改訂2015 1. 3. ⑤  
観光立国実現に向けたアクション・プログラム  
2015 6. (5)

## プロジェクトの主な取り組み

AIRPORT

### (1) 空港をゲートウェイとした様々なコンテンツの発信

- デジタルサイネージによる待機時間中の情報発信



【デジタルサイネージ】

- 空港におけるロボット活用に向けた検討

### (2) ストレスフリーの環境整備

- 無料公衆無線LAN環境整備促進
  - ・ 全国へのWi-Fiスポット拡大
  - ・ 共通シンボルマークの導入
  - ・ 利用手続きの簡素化・一元化



- スマホ・タブレット端末等を用いた多言語音声翻訳システムの活用



【出典】成田国際空港ホームページ

### (3) 更なるバリアフリー化

- リフト付きバスの導入に向けた検討
- UDタクシーの導入促進



【リフト付バス】



【UDタクシー】

- 空港からのアクセスルートのバリアフリー化



【エレベーター】



【駅のホームドア】

※東京ユニバーサルデザインショーケースと連動して取り組む。

### (4) 世界最先端のトイレ

- 高機能トイレのショーケース化



【出典】TOTOホームページ

### (5) 鉄道・バスによるアクセスの改善

- より質の高い東京圏の都市鉄道ネットワークを構築していく観点から、空港アクセスの改善を図る。
- 国家戦略特区の枠組みによる規制緩和や深夜早朝時間帯におけるバスアクセスの利便性向上(羽田空港において平成26年度より実施)等を通じたバスアクセスの更なる充実を図る。

# オリンピック・パラリンピックに向けた 水害対策・施設耐震化等防災機能強化

国土強靱化基本計画

概算要求

下記参照

○平成31年度末までに、次の水害対策を実施する。

- ・ 荒川等において、水門等の耐震対策や局所的に低い堤防の嵩上げ等を実施
- ・ 局地的な大雨等に対応するため、雨水貯留管等の下水道整備を支援
- ・ 氾濫が発生した場合も排水ポンプ場を確実に稼働させるための耐水化対策を実施
- ・ タイムラインを荒川下流域の関係機関に拡大し、台風接近時における競技の運営判断を支援

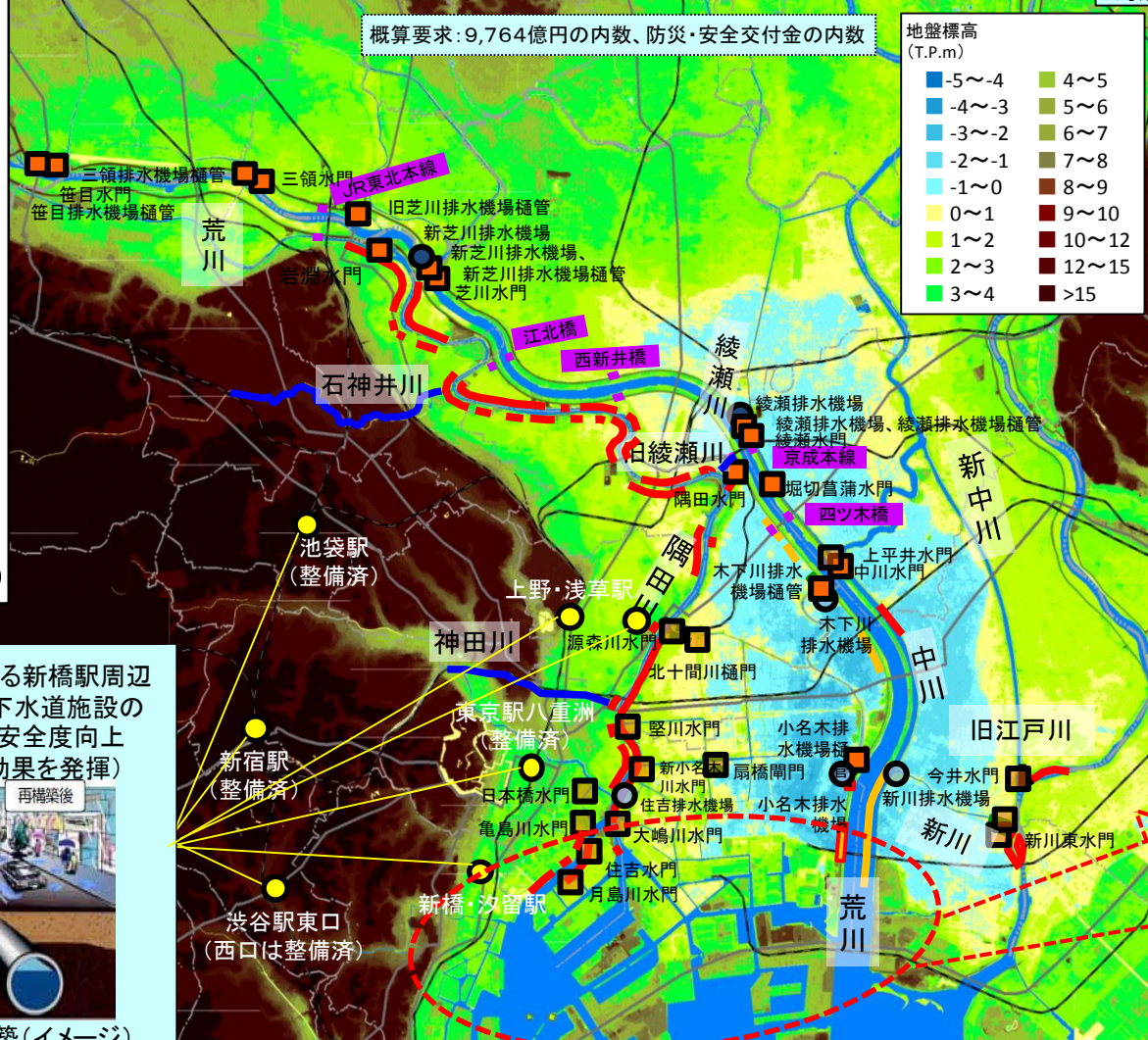
○台風時の高潮対策等として、臨海部において水門等の運用体制の構築支援などの防災機能強化を推進



局所的に低い堤防の嵩上げの実施(橋梁部周辺が約2m低い)

## 【凡例】

- 荒川の対策
- 高潮堤防の整備区間
- 橋梁部の堤防整備箇所
- 堤防の耐震対策区間
- 排水機場の耐水化箇所
- 水門等の耐震対策箇所
- 隅田川、中川、旧江戸川の対策
- 堤防の耐震対策区間
- 水門等耐震対策区間
- 排水機場耐震対策箇所
- 主な下水道整備箇所

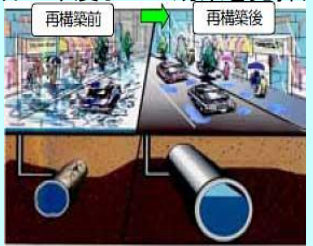


概算要求額: 防災・安全交付金の内数

臨海部の水門等の運用体制の構築支援等を通じ、防災力を強化



大規模地下街を有する新橋駅周辺等の地区において、下水道施設の再構築等による浸水安全度向上(平成31年度までに効果を発揮)



下水道施設の再構築(イメージ)

- 池袋駅(整備済)
- 新宿駅(整備済)
- 渋谷駅東口(西口は整備済)

# 路面温度上昇抑制対策の推進

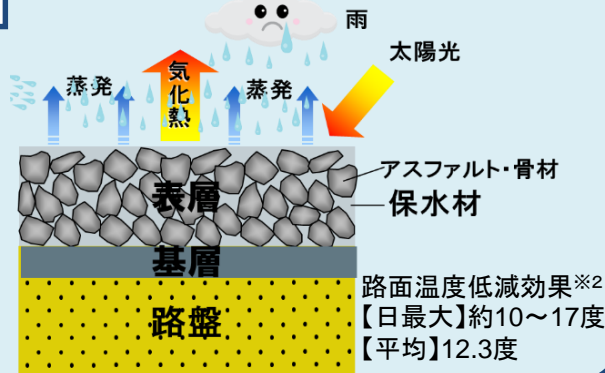
アスリート・観客の暑熱対策として、路面温度上昇抑制機能を有する舗装等について、マラソンコース等での整備に向け、「アスリート・観客にやさしい道の検討会」※1において検討中。今後、国道246号における現地での効果検証等、具体的な検証を進める予定。

(※1 第1回:平成27年4月17日 第2回:平成27年6月19日)

## 「路面温度上昇抑制機能を有する舗装技術」

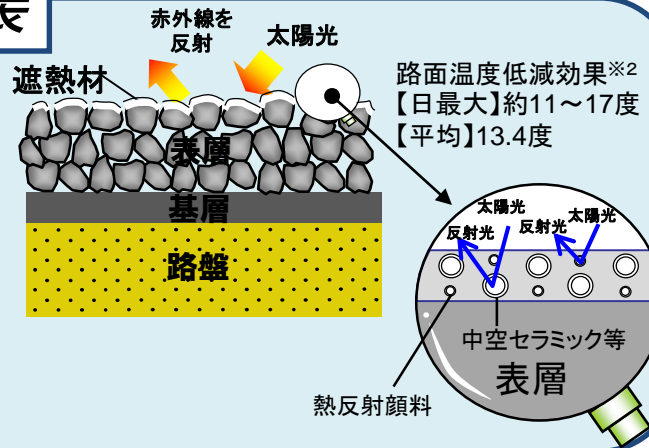
### ①保水性舗装

舗装の空隙に保水材を充填し、それに吸収された水が蒸発散する際の気化熱によって路面温度を低減する舗装



### ②遮熱性舗装

表面で光を反射させて路面温度の上昇を抑制する舗装



### 【効果検証】

- 路面温度上昇抑制機能を有する舗装の「暑熱対策効果」を計測
- 現地で「走りやすさ」等を体感



※2 関東地方整備局関東技術事務所フィールドでの調査結果

# 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした図柄入りナンバープレートの交付

- オリンピックに向けて国民的機運の醸成、意識の高揚を図る観点から、**2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様のデザインを施した自動車のナンバープレート**を希望する者に対し、**全国において交付**する。
- **当該ナンバープレートの交付に合わせて募集される寄付金を活用して、大会開催に向けて必要となる交通サービスの整備**（バス・タクシー等のバリアフリー化、IT化、新技術等）を**促進する**仕組みを構築する。
- また、自動車の魅力の更なる向上、地域振興、観光振興等を推進するため、**地方版図柄入りナンバープレート制度を創設**し、地方自治体の要望も踏まえ、**地方創生等に資する地方版図柄入りナンバープレートを交付**する。

日本再興戦略改訂2015 2.6

## 他国における過去の実施例

・バンクーバー五輪の例



・シドニー五輪の例



・アトランタ五輪の例



・ニューヨーク州の例



・ハワイ州の例



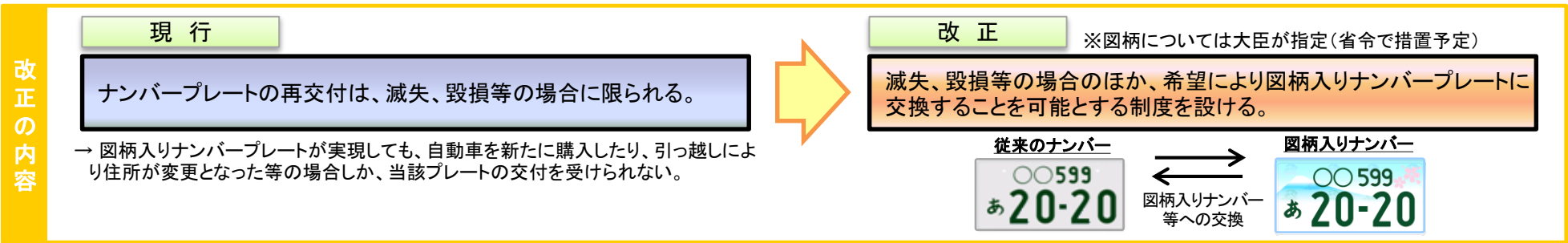
## 日本

・日本（現行）



## これまでの進捗・今後の予定

- 自動車の所有者の希望による**図柄入りナンバープレートへの交換制度等を盛り込んだ「道路運送車両法及び自動車検査独立行政法人法の一部を改正する法律」が、平成27年6月17日に成立**（平成28年3月31日までの政令で定める日に施行）



## 【2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートの交付】

- 省内に設置した「**2020年オリンピック・パラリンピック東京大会特別仕様ナンバープレート実施本部**」において、**基本スキーム、交付方法、デザインの決定方法等について検討**するとともに、**組織委員会等との調整を実施**
- **平成27年度**のできるだけ**早期に交付開始**

## 【地方版図柄入りナンバープレート制度の創設等】

- 平成27年8月に第1回検討会を開催（年内に計3回予定）し、**年内に地方版図柄入りナンバープレートの制度を公表予定**
- 平成28年1月から、各地方への周知、地方自治体における図柄の公募等を経て、**平成28年度以降に地方版図柄入りナンバープレートの交付開始**